6/16 福井

東京、大阪あす接種開始

自衛隊会場 全国から予約可能

64歳以下コロナワクチン

自衛隊が東京と大阪で運営する新型コロナウイルスワクチンの大規模接種センターは16日午前0時から全国の18～64歳を対象に予約を受け付け、17日に接種を始める。手続きには接種券が必要となる。防衛省が15日、大規模接種対策本部会議を開催し決めた。27日までの期間で大量に余った予約枠を埋めるため、これまで65歳以上の高齢者に限定していた年齢制限を撤廃した。64歳以下への接種券配布は一部で始まったが、市区町村で時期が異なり、接種加速化への効果は見通せない。

自衛隊のセンターは首都圏と関西計7都府県の65歳以上を対象に開設され、1日当たり東京会場1万人、大阪会場5千人の接種能力がある。今月14～27日分で予約が急減し、防衛省は対象地域の全国への拡大や電話窓口での予約も始めたが、低調なままだ。米モデルナ製のワクチンは18歳以上が対象で、拡大の範囲は18～64歳となった。

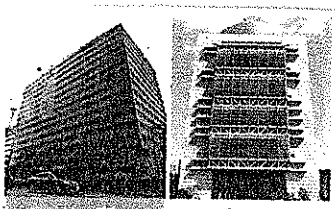
対策本部長の中山泰秀防衛副大臣は記者会見し「65歳以上の接種ニーズは十分くみ取ることができた。一人でも多くの国民に接種できるように努めたい」と対象拡大の理由を説明した。

予約は防衛省ホームページや通信アプリのLINE（ライン）で可能。電話窓口でも土日祝日を含め午前7時から午後9時まで受け付ける。電話番号は東京会場（0570）056730、大阪会場（0570）080770。

防衛省は14日、予約急減を踏まえた穴埋めの緊急対応として、東京会場で危機管理対応を担う自衛隊員や警察、消防、海上保安庁の職員に接種すると決定。14、15日と自衛隊員らに実施した。岸信夫防衛相は「一般への接種に支障を及ぼさない範囲で実施していく」と説明している。

防衛省によると、15日午後5時までに、16～27日の予約枠は東京会場で12万件のうち約8万5千件、大阪会場で6万件のうち約3万2千件が残っている。28日以降は、センターで1回目を受けた高齢者の2回目が本格化し、新規の予約枠はほぼないという。

自衛隊の大規模接種センター



	東京	大阪
場所	大手町合同庁舎3号館	大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）
電話番号	(0570)056730	(0570)080770
受付時間	毎日午前7時～午後9時	

防衛省ホームページとLINEでも受け付け

接種券が必要

自衛隊大規模接種センター　政府が東京と大阪の2カ所に5月24日、開設した。ワクチン接種の遅れに対する批判を念頭に菅義偉首相が、自衛隊を運営主体として設置するよう指示した。全国から医師や看護師の資格を持つ自衛官を集め、民間の看護師も募った。予約システムや会場の受け付け業務は、旅行会社に委託している。